

田んぼで「おたまじゃくしいるかな〜？」 探しているすみれさんとばらさん



裏山あそび



やま保育(裏山あそび)は人生の根っこを育てる保育です。

作られたものではない小谷村の自然の中で、虫を見つけ観察する子、急坂を自分の手と足を使い自分の力で何度も登る子、枝や葉っぱを見つけ秘密基地を作る子、それぞれが自由にいろいろなことを試し・考え・遊び込み、友達と力を合わせたり、教え合っています。

その経験・体験を通して、五感が研ぎ澄まされ、たくさんの好奇心や創造力があふれ、考える力も育ちます。その中で芽生える発想力は、たくましく生きていく力に繋がります。

しかし、子どもが挑戦することによって起こる危険もあります。野山を走って、転んで傷を負ってしまったり、動植物アレルギー、刺されたり、かぶれることもあるかもしれません。みんなで起こりうる危険の学びをしたり、毒のある植物を知ったり、もし刺されたらどうしたらよいか？自分で生きていく術を知ろうとする力が湧いてきます。言われたことをするのでなく、自らが知りたい、どうしてだ？調べてみよう！に繋がっていきます。

こうして おたりっこは

遊びの達人 になるのです！

保育士も研修を受けながら、子ども達と共に不思議を見つけ、遊び込み、楽しい！わくわく！をたくさん共感して共有していきたいと思います。

保護者の皆さまには、子ども達が遊び込めるように、裏山服・軍手・鈴などご準備いただきご理解・ご協力ありがとうございます。

